

## NITS オンライン動画視聴後の「振り返りシート」 <校内研修シリーズ>

【No117:学校における男女共同参画の推進～無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に気づき、変革につなげるために～】

### Step.1 解答例

- (1) 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）とは、環境や経験を通して、所属する集団のなかでつくられる思い込みや偏ったものの見方のこと。社会の様々な慣習や制度、しくみなどと相互に関連して、男女共同参画社会の実現を阻む要因となっているといわれている。誰もが持っているもので、自分にも様々な思い込みや偏見があることを自覚し、これらに気づいて行動を変えていくことが大切である。

〔固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の例〕

「女の子はやさしく、男の子は強くあるべき」

「家事・育児・介護は女性のほうが向いている」

「男性が一家の主な稼ぎ手であるべき」

「理数系の教科は、男子児童生徒のほうが能力が高い」

「管理職は男性のほうが向いている」 など

- (2) ①理工系分野に占める女性の割合（子供の指導に関すること）

専攻分野によって、性別の割合には偏りが見られ、理学や工学分野では、特に女性の割合が低い。STEM 分野の大学入学者に占める女性の割合を、他の OECD 加盟国と比較すると、日本の値は最も低い。

- ②管理職に占める女性の割合（教員のキャリア形成や働き方に関すること）

教員全体に占める割合に比べ、管理職に占める女性の割合は低い。特に校長の割合は低く、小学校は約 2 割、中学校及び高校では 1 割に満たない。小学校・中学校の校長に占める女性の割合を OECD 加盟国・地域と比較すると、日本の値は極めて低い。